

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

平一幼稚園への木育

2月6日（金）

令和8年2月6日に宮古島市立平一幼稚園へ園児を対象とした木育を行った。内容は、宮古島産の木材を使ったえんぴつ・ペン立てを工作するとともに、森の機能や園周辺の樹木について講演を行った。

まず、森の機能について、県が作成した沖縄の森林に関する動画を視聴し、その後はパワーポイントで画像や地図を用い、宮古島の水源涵養林や防風林について、分かりやすく説明を行った。

えんぴつ・ペン立ては、パーツをボンドで貼り合わせる作業で完成するものとした。なお、パーツには宮古島産のイヌマキ、テリハボク、リュウキュウコクタンを使用し、島内の木工者である宮古木工芸に準備していただいた。

ボンドを乾かしている間に園庭を回り、園庭に植栽されている樹木について、どのような特徴等があるのか説明を行った。

園児達は工作では器用にボンドを使ってえんぴつ・ペン立て作り、森の機能に関する講演では真剣な面持ちで話を聞き、問いかけには大きな声で答えてくれた。園庭での樹木に関する講演では、リュウキュウコクタンの材の芯のみが黒くなることに驚く声や、イヌマキが昔の家に使われていたことに興味を示す様子を見せており、身の回りにある木や林、森に、より親しみをもってもらう機会となった。

今後も沖縄県の森林・林業に係る普及啓発に努めていきたい。



(報告者：宮古農林水産振興センター 仲宗根・山城・玉城)